

令和6年度（2024年度） 北海道羽幌高等学校 学校経営方針等

学校教育目標（目指す生徒像）

◎正しい判断力を養う【知】

◎豊かな情操を養う【徳】

◎たくましい体力を養う【体】

1 重点目標

- (1) 羽幌高校「6つのちからとこころ」の育成に努める。
- (2) 自己肯定感や成就感を高め、自身の成長を感じることができる魅力ある教育活動に努める。
- (3) 人としての在り方生き方を考え、将来の目標を明確にするなどキャリア教育の充実に努める。

2 経営方針

学校教育目標をよりよく達成するために、カリキュラム・マネジメントにより、組織として機動的、継続的かつ発展的に学校課題の解決に取り組む。

(1) 組織運営

ア 本校の学校教育目標、スクール・ミッションに基づく魅力ある教育活動を、生徒や保護者、地域の要望を踏まえた実践とする。

イ 育成を目指す資質・能力（羽幌高校「6つのちからとこころ」）を踏まえ、学校内外の教育資産を活用した教育活動を実践する。

ウ 学校評価や事業の評価などリフレクションによる検証を踏まえた、教育活動の改善を的確に行う。

(2) 職員の資質向上と服務規律

ア 地域から信頼される学校を目指し、法令遵守や服務規律の保持など危機管理意識の向上を図る。

イ 学校の課題や個々の課題に係る研修などを積極的に推進し、深い教育的愛情に裏付けられた資質・能力の向上を図る。

ウ 職員一人一人の心理的安全性と「安心」を確保したもとで、日々の教育実践を行う学校文化の涵養を図る。

(3) 職員の働き方改革

ア 「北海道アクション・プラン（第3期）」を踏まえ、成果が見える改革に取り組む。

イ 組織としての課題の見える化を図り、機動的な業務改善に取り組む。

ウ 教育の質の向上を図るためのワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実践を強化し、効率的な業務に取り組む。

3 教育課程編成の方針

- (1) 学校教育目標とスクール・ミッションの達成を目指し、「社会に開かれた教育課程」の編成に努める。
- (2) 生徒の実態や地域の要望を踏まえ、さらなる質の確保とその向上に向けて生徒の「多様性への確保」と「共通性の確保」を合わせて進め、魅力ある教育課程の実践に努める。
- (3) 生徒の興味・関心や進路希望など、生徒個々に寄り添った教育課程の創意工夫に努める。
- (4) 授業時数の適正な確保と効果的な展開を図り、教育課程の充実に努める。

4 指導上及び学校運営上の重点事項

学習指導	(1) 学習シラバスを活用し、見通しを持たせた授業展開や観点別評価による学習評価を的確に行い、たゆまない授業改善を図る。 (2) 探究的な活動や教科横断的な学習により「育成を目指す資質・能力（羽幌高校「6つのちからとこころ」）」などを育む授業を実践する。 (3) 主体的に学習に取り組む姿勢を育む指導を強化し実践する。
生徒指導	(1) いじめ防止に向けた組織的な体系を確立し、日常からの生徒の状況把握及び未然防止、早期発見と早期対応に組織的に努める。 (2) 特別活動や部活動等を通して、生徒が自ら考え、創意工夫を講じながら、仲間と協働する態度を育む。 (3) ボランティア活動や地域との協働による活動等を通して、自己肯定感や成就感を高めながら、地域の一員としての自覚を持たせ地域に貢献しようとする意識の高揚を図る。 (4) 特別支援教育の充実に向け、関係諸機関との連携の強化と研修の深化に努める。
進路指導	(1) 生徒の自己実現に向け、3年間を見通した体系的なキャリア教育を組織的に実践し深化を図る。 (2) 収集して分析した進路情報を、進路ガイダンスや保護者説明会、面談などを通して、生徒や保護者に適切に提供して個々の相談に対応する。 (3) 生徒個々のよさや可能性を引き出し、各種の資格取得への指導を強化し、進路目標やよりよい将来の生き方、キャリアを育む態度を育成する。
健康・安全指導	(1) 各教科・科目や外部講師による講演会等をととして、日常的に命や健康の保持増進、安全意識、体力向上の大切さを、家庭との連携を図りながら指導する。 (2) 交通安全やマナー意識の向上などを徹底し、交通ルールをはじめ様々な規範に対する意識の高揚に努める。 (3) 日常から主体的に学習環境の整備や美化、安全点検に努める。
その他	(1) Web ページやSNS、各種通信等で本校の教育活動を保護者や地域に向けて積極的に発信する。 (2) 教育活動の地域への公開や地域行事等への参加により、積極的に地域や関係機関との連携・協働に取り組む。 (3) 学校と保護者の連携を十分図り、教育活動の充実につながるPTA活動を目指した取組を推進する。